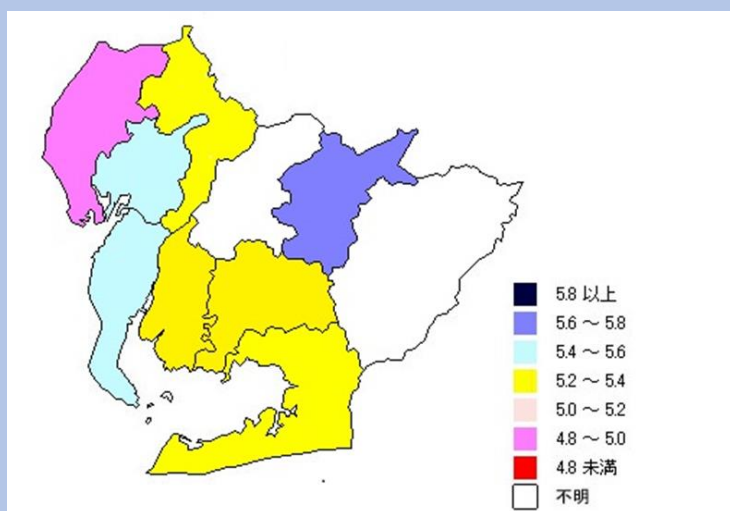


平成 29 年度 酸性雨調査結果

愛知県の化学系学科は、平成 4 年からこれまで 25 年にわたって酸性雨を調査してきました。
今年度の結果は以下のとおりです。

	6月		7月		9月		10月		全体	
	データ数	pH	データ数	pH	データ数	pH	データ数	pH	データ数	pH
尾張東部	76	5.34	39	5.21	24	5.41	54	5.34	193	5.32
名古屋	324	5.48	136	5.47	143	5.56	214	5.46	817	5.49
尾張西部	119	4.92	51	4.98	26	5.00	49	5.05	245	4.99
知多	47	5.60	21	5.68	25	5.31	39	5.49	132	5.52
西三河南西	108	5.39	35	5.27	72	5.12	99	4.99	314	5.19
西三河南東	86	5.39	34	5.34	48	4.98	75	5.10	243	5.20
西三河北東	8	5.48	6	5.63	6	6.20	10	5.58	30	5.72
東三河南	16	5.26	8	5.65	11	5.35	15	5.19	50	5.36
TOTAL	784	5.36	330	5.35	355	5.33	555	5.28	2024	5.34



調査を行なった愛知県内の化学系学科

愛知県立愛知工業高等学校
愛知県立愛知総合工科高等学校
愛知県立岡崎工業高等学校
愛知県立起工業高等学校
愛知県立小牧工業高等学校
愛知県立碧南工業高等学校
愛知県立名南工業高等学校
名古屋市立工業高等学校

今年度は 6 月に雨が多く、さらに 10 月には 2 度台風の影響を受けました。
調査結果から、生徒同士で話し合っただけで次のことがあげられました。

- ・春にもっとも影響がある大陸からの PM2.5 の影響は、6 月から 10 月になるにつれて弱まってくる。
- ・西三河北東については、近くの工場や道路の影響を大きく受けていると考えられる。
- ・10 月は 2 度の台風があったものの、雨の pH としては大きな変化はなかった。
- ・愛知県の沿岸部ほど、酸性の傾向が強い。
- ・10 月に噴火した新燃岳（しんもえだけ）の影響はなかったと考えられる。

来年度も継続して調査を行なう予定です。

これまでの調査結果は、

愛知県 工業高校 化学部会

検索